



泉大津市市民活動支援センター

おづぷらざ

vol. 13

【発行所】NPO法人いずみおづ市民活動ネット【発行日】平成 30 年 6 月 15 日

センター利用登録数

100

団体突破!



▼100団体目は泉大津ライオンズクラブ▲

平成27年1月の開所以来、おづぷらざの利用登録数は着実に増加し、年度ごとの登録数は、平成26年度に15団体、27年度55団体、28年度21団体と登録が続いた結果、ついに平成29年度末に解散や活動休止による登録抹消を除いた実登録数が、100団体を超えました。100団体目は、皆さんご存知の「泉大津ライオンズクラブ」です。ライオンズクラブは国内だけでなく、海外でも援助活動を展開するなど、国際的に活躍する団体ですが、同団体が主催する「子ども将棋大会」をテクスピア大阪小ホールで開催するにあたり、泉大津市民自主事業協議会を通じておづぷらざに相談があり、開催準備に協力したことで支援機能が認められて今回の利用登録につながりました。

▼対局の行く末は意外な決末に!▲

さて、2月25日の将棋大会当日は、100名を超える親子が集まり、保護者が見守る中、盤をはさんで熱戦を繰り広げました。勝って喜ぶ者、負けてうつむく者、子ども同士であっても対局は真剣です。そして24組の総当たり戦から勝ち抜き2回戦、3回戦と進んだ決勝の対局は、予想外の小学6年生と4年生の兄弟対決となりました。静まり返った会場に駒の音だけが響く一進一退の形勢が続き、審判長のプロ棋士、南九段ら大勢の人が見守る中、この激戦を制して優勝したのは、なんと4年生の弟でした。



女の子だと思っていると手痛い目にあいそうですよ

▼皆々まのロミても期待しております▲

このライオンズクラブの登録後も利用登録は増え続け、このニュース発行の直前では104団体となりました。

新たに生まれる団体があれば、消えていく団体もあるということ、今後は、登録数の増加もゆるやかなものになると思われそうです。

しかし、「活動に役立つセンター」を知ってもらい、まだおづぷらざを知らない団体の新たな利用登録につながるよう、そして新しい団体の船出を手助けできるよう、これからもおづぷらざの活動を皆さまにお知らせしていきたいと思えます。



表彰式はみんな誇らしげです

自治会とボランティアがコラボ

浜助松自治会館に図書コーナーを開設!



自治会館に本を持ち寄って、地域の子もや親子に楽しんでもらう「自治会図書館」を開設することで、若い世代の住民と自治会の距離を縮めようという試みが浜助松自治会で始まりました。

開設にあたっては、「まちかど本箱」活動を展開するホンノワまちライブラリーが協力し、自治会館の前に真新しい本箱を設置しました。



ホンノワの高島代表

3月11日にオープン式典があり、この日集まった約80名の参加者の前で、自治会役員とホンノワの高島代表が、ひと言添えて自分の持ってきた本を本箱に入れる「植本祭」を行い、その後開かれた地域の人による紙芝居や読み聞かせの「おはなし会」には子どもたちも大喜びでした。

自治会の加入率低下への歯止めともなる試みですが、このように自治会と市民活動団体が協力して地域の活性化につなげようという思いを、おつぶらざも積極的に応援したいと思います。



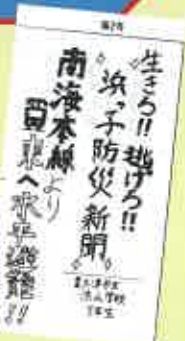
おはなし会には子どもがいっぱい!

第3回 まなび愛広場

3月3日に「市民の目線で考える防災と避難の実際」というテーマで、第3回のおつぶらざまなび愛広場を開催しました。

防災への取組みが活発な浜小学校区にある、自主防災組織「ネット松之浜」の橋詰氏の発表には、地元で活動する人ならではのリアリティーがあり、障がいのある参加者からも、自分で考えた災害発生時の避難ルートが適切か否かについて発表者に意見を求めるなど、17名の参加者の間で活発な議論が交わされました。

橋詰氏からは、「たとえ避難所で暮らすことになったとしても、少し状況が落ち着いたら、障がいの有無にかかわらず、「何か自分にできることはないか?」と考えて行動してください。」という言葉があり、参加者たちにとって大いに考えさせられた内容でした。



生け花が香る華やかなパネル展会場



アンサンブル・ルミエール
マンドリンとハーモニカによる懐かしの昭和歌謡演奏



オカリナキャロットとカナリアクラブ
両団体共演では初参加



有段者は迫力満点



日本空手道剛柔流 大修会同心館
子どもたちの力強い空手演武



穴師コーラス
来場者と合唱



点字サークルにし
点字の名刺づくり体験



演じる方も観る方も真剣です



楽ちん弾
楽しい弾き語り



次回も多くの参加と協力をいただいで、このフェスタがより一層の盛り上がりを見せるよう、スタッフ一同頑張っております。

▼賑やかなステージ▲

また、25日に小ホールで開催されたステージ発表と体験コーナーでは、楽器演奏あり、歌あり、踊りあり、また演武の披露ありと、多彩なプログラムで約600名の来場者を数えました。ここにすべての団体を紹介できないのが実に残念ですが、ステージ・体験コーナーに今回初出演の団体を紹介させていただきます。

▼36団体が参加▲

今年も年度の最後を締めくくる「おつぶらざフェスタ」が実施されました。3回目となる今回は、パネル展示、ステージ発表、体験コーナー、進行協力など、合わせて36団体の参加があり、織編館ギャラリーで3月22日から27日まで催されたパネル展には、泉大津市茶華道連合会による生け花が飾られ、昨年以上に力作が揃った活動紹介パネルと共に目と香りで会期中に訪れた340名の人々を楽しませました。

今年も盛況でした 第3回 おつぶらざフェスタ

泉大津市合唱連盟 交歓演奏会



平成30年2月18日に泉大津市合唱連盟の交歓演奏会がテクスピア大ホールで開催され、泉大津市少年少女合唱団、条南若葉会、女声コーラスあじさい、泉大津市混声合唱団など7団体が出演する華やかなイベントとなりました。

なかでも、写真の条南若葉会は結成15周年を迎え、平均83歳という年齢からは到底信じられないような合唱を披露し、来場者もその張りのある歌声に驚かされました。今後も末永くご活躍いただきたいと思ひます。

まなび愛広場

のお知らせ

6月24日(日)

午後1時30分～3時



地域を元気にするには若い力が必要です。しかし、若い人たちに地域活動の場に出てもらうのは容易なことではありません。

今回のまなび愛広場は、「地域の人集め」という側面を含め、このニュース中面で紹介した浜助松自治会とホンノワまちライブラリー、そして戎小学校図書室で子どもの居場所づくりをしている「りぶね EBISU」の活動をヒントに、本を通じた地域のコミュニティづくりについて考えます。自治会の方もどうぞご参加ください。



いいネ!と言われる

プレゼンテクニック講座



講師の鳥羽氏

5月13日と20日に、講師に前回の「展示物デザイン講座」で好評だったアボットデザインオフィスの鳥羽博氏に再びご登壇いただき、気持ちの伝え方と見せ方を学ぶ、2回連続のプレゼンテーション講座を開講しました。

13日の伝え方(トーク編)の講座では、「上手に話す必要はない、真剣に話せば子どもの言うことでも人は聞く。」「相手に未来をイメージさせることが着地点。」など、相手を本気にさせるための伝え方の本質とその準備の必要性について話していただきました。

登壇の見せ方(資料編)の講座では、架空の団体の資料作成の過程を例に、情報の整理と色づかいによる目線の誘導など、実践的に踏み込んだ内容で例示して解説されました。

各回の参加者は受講の動機こそさまざまですが、大勢の前で話すのも、一対一での対話でも「伝える」ということの本質は変わらないということを含めて、広く学んでいただけたと思います。



[開館日] 木曜日～火曜日 午前9時30分～午後5時15分
[閉館日] 水曜日・祝日・年末年始

〒595-0025 泉大津市旭町22番45号 テクスピア大阪5階
[TEL] 0725(24)9016
[FAX] 0725(24)9017
E-mail oduplaza@outlook.jp
ホームページ <http://www.city.izumiotsu.lg.jp/oduplaza/>

